

KATSURAGI CITY

歴史と文化を受け継ぎ
輝く未来にむかって

葛城市 市制20周年記念誌

20th ANNIVERSARY

葛城市 住み良さ 上昇中!!

「市民第一の住みよいまちづくり」
が広がることで、地域の発展に
つながり市民の満足・安心が
上昇します!

住みよさ
ランキング
2024
全国 **46** 位
奈良県6年連続
1 位

出典:東洋経済新報社「都市データバンク2024 年版」



満足・安心のまちづくり

災害対策

- 教育施設耐震化率 **100%**
- 耐震性貯水槽・給水車の整備完了
- 市内ため池の調整池化・洪水吐の整備 等

福祉の充実

- 介護老人福祉・保健施設定員数 (老年人口当たり) **全国 1 位**
- 介護保険料の引き下げ
- 生活支援コーディネーターの地域づくり
- いきいきセンター改修完了 等

子育て支援

- 子どもの医療費助成 (18歳まで医療費助成)
- 第2子目以降の保育料無償
- 小・中学校のエアコン設置率・耐震化率 **100%**
- 認定こども園・保育所・学童の整備 等

人々が集まる

- 転出入人口比率 **奈良県 1 位**
- 年少人口比率 (15歳未満) **奈良県 1 位**



まちが元気になる

観光・産業

- けはやちゃんこ鍋コンテストや相模行事を通じた相模発祥の地をPR
- 芝桜まつり **来場者 1 万人**

税収・基金が増える

- 税収・基金が3年間で順調に増加!
基金は特別会計を含めた全基金の決算合計額
- | 年度 | 税収 (億円) | 基金 (億円) |
|-------|---------|---------|
| 令和2年度 | 約42.6 | 約50.5 |
| 令和3年度 | 約42.7 | 約53.8 |
| 令和4年度 | 約43.3 | 約58.1 |

行政サービスが増える・継続できる

- 水道・下水道料金の安さ **奈良県 1 位**

葛城市歌

「緑の風」

作詞／北川康宏
作曲／キダ・タロウ
編曲／山田恵範

① 昇る朝陽の輝きが
大和の郷を包み込む
金剛葛城二上の峰を
見上げて育つ若い夢
緑の風も爽やかに
明日へ旅立つ葛城よ

② 燃える想いと微笑みが
大和の郷に幸を呼ぶ
誰もがやすらぐ憩いの街に
色も優しい二輪菊
心の糸を結び合い
明日を見つめる葛城よ

③ 巡る季節の彩りが
大和の郷を染めてゆく
遠かな歴史の旅路の跡を
現在に伝える来迎会
希望の鐘を響かせて
明日へ翔く葛城よ



葛城市長
阿古和彦

ごあいさつ

2004年10月に2町が合併し、誕生した葛城市は、市制施行20周年を迎えました。市政発展の礎を築き、支えて下さった先人のご尽力に対し感謝申し上げます。

これまで「市民第一の住みよいまちづくり」を根底に、市民の皆さまが安心して暮らしていけるまちを目指し、取り組んでまいりました。その結果、東洋経済新報社が公表している「住みよさランキング2024」におきまして、本市は、奈良県で6年連続第1位、全国46位を獲得し、高い評価を頂いております。このことは、これまでの市民の皆さまのご理解とご協力の賜物であります。

この節目の年となる本年から新たなステップとして、さらに活力のあるまちづくりを進め、これからも市民の皆さまを第一に「教育環境の充実と子育て支援」「高齢者、障がい者福祉の充実」「市民の生命・財産を守る災害対策」「環境にやさしい葛城市」「堅実な財政への改革と健全化」「産業の活性化」を政策の軸として事業に取り組んでまいります。

ごあいさつ

この度、葛城市は市制施行20周年という大きな節目を迎えました。市民の皆さま、そして市政に関わる全ての皆さまへ、心より感謝申し上げます。葛城市議会では、この20年間、誰にでもわかりやすく開かれた議会を目指し、議会基本条例の制定や議会のインターネットライブ中継の開始、議会だよりのリニューアルなど、様々な課題や議会改革等に取り組んでまいりました。

現在は、タブレット端末の導入や議員定数などについての議論を深め、さらなる議会改革を進めているところでございます。また、市民懇談会の開催など、今後も市民の皆さまとの対話の場を積極的に設けるとともに、本市の持続可能な発展に向け、多様な視点からの議論が行えますように、老若男女問わず活躍ができる議会を目指し、努力を重ねてまいりたいと考えております。

20周年という新たなスタートに際し、これまで以上に活発な議論を交わし、議員一丸となって、全力で取り組んでまいります。



葛城市議会 議長
川村 優子

KATSURAGI CITY PROFILE



葛城市の位置

葛城市は旧新庄町と旧當麻町の合併により平成16年10月に誕生、奈良県北西部に位置し、33.72平方キロメートル内に約37,800人が暮らしています。(令和6年7月現在)



葛城市の市章

上下に配した二つの円は旧新庄町と旧當麻町を表し、二つの円が一つの市へと生まれ変わったことを表します。下部の緑の部分は葛城山系の山並みや緑に茂る葉を表し、豊かな自然を守っていききたいという願いが込められています。上部に赤い円を配し、全体で花が咲いたように見立て、菊やぼたんの花が咲く、うるおいのあるやさしいまちであることを表しています。さらに、大空に大きく手をかかげたようにも見える造形は、葛城市が輝く未来へ発展していくことへの願いをも表しています。

葛城市マスコットキャラクター 蓮花ちゃん



20周年ロゴマーク

相模発祥の地を全面的にアピールしたロゴマークです。お相模さんが手で「20周年」の20を表し、「はっけよい!」と葛城市のこれからを活気づける意味を込めています。葛城市のロゴマークの色を使用し、カラフルでたくさんの方に親しみやすいデザインとしました。



市民の皆さまとともに機運を盛り上げるためのキャッチフレーズ入りロゴマークを募集し、多数の応募の中から審査を経て最優秀作品を選びました。

市の木



いちいがし



くすのき

市の花



きく



ぼたん

市の鳥



うぐいす

市民憲章

葛城市は、美しい自然に抱かれ、悠久の歴史が息づくとともに産業や文化が活発に展開する、昔と今が共生するまちです。わたしたち葛城市民は、安全で魅力あふれるまちづくりに向け、ここに市民憲章を定めます。

- ◆ 恵まれた自然を大切にし後世につなげるまちをつくります
- ◆ かけがえのない文化遺産を守り香り高い文化を育むまちをつくります
- ◆ 地域の産業を生かし活力に満ちたまちをつくります
- ◆ たくましい心と体を育み健康で明るいまちをつくります
- ◆ 豊かな人間性を導び若い力を伸ばすまちをつくります

葛城市 20年の歩み

HISTORY OF KATSURAGI CITY

2004 平成 16 年	2005 平成 17 年	2006 平成 18 年	2007 平成 19 年	2008 平成 20 年	2009 平成 21 年	2010 平成 22 年	2011 平成 23 年	2012 平成 24 年	2013 平成 25 年	
10月1日 新庄町・富岡町合併、 葛城市となる 市のできごと	葛城市誕生記念式典 市章制定 市のできごと	市歌「緑の風」制定 市民憲章制定 葛城市総合計画策定 市のできごと	「葛城の行事と暮らし」 「葛城のむかしばなし」 が図書館より発行 市のできごと	ファミリー・サポート・ クラブ運用開始 葛城市 マスコットキャラクター 蓮花ちゃんデビュー 市のできごと	第1回 ゆめフェスタ開催 市のできごと	第1回菜の花まつり アースデインかつらぎ 第1回 キャンドルナイト 市のできごと	大相模葛城場所開催 市のできごと	竹内街道・横大路 敷設1400年記念事業 新設第2保育所 建替え完了 市内小中学校の 耐震化完了 市のできごと		
世の中のできごと ○スマトラ島沖地震 ○アテネオリンピック・ パラリンピック	世の中のできごと ○京都議定書発効 ○愛知万博「愛・地球博」	世の中のできごと ○トリノ冬季オリンピック・ パラリンピック	世の中のできごと ○郵政民営化 ○石見銀山が 世界遺産登録	世の中のできごと ○北京オリンピック・ パラリンピック ○日本でiPhone発売開始	世の中のできごと ○新型インフルエンザ発生 ○裁判員制度スタート	世の中のできごと ○平成運都1300年祭 ○小惑星探査機 「はやぶさ」帰還 ○バンクーバー 冬季オリンピック・ パラリンピック	世の中のできごと ○東日本大震災 ○FIFA女子ワールドカップ 大会でなでしこジャパンが 初優勝 ○紀伊半島大水害により 五輪市、十津川村など 被害甚大	世の中のできごと ○東京スカイツリー開業 ○ロンドンオリンピック・ パラリンピック	世の中のできごと ○富士山が 世界遺産登録 ○特別警報運用開始 ○フィリピン台風被害	
渡辺美優紀さん 観光大使就任 市民放送「かつらぎてれび」 スタート 前川佐美雄 生誕110周年記念講演 新庄小学校附属 幼稚園建替え完了 乳幼児等の医療費 助成が中学生まで拡大 市制10周年記念式典 市のできごと	河内幸菊丸さん 観光大使と相模館 名誉館長就任 かつらぎネット Meまもり事業スタート 学校給食センター完成 市のできごと	コミュニティバス 「ぐるどかつらぎ」 運行開始 こども・若者サポート センタースタート 相模Wi-Fiスタート 道の駅かつらぎ オープン 市のできごと	新クリーンセンター稼働 しあわせの森公園開園 スポーツクラブ葛城 スタート 「竹内街道」 日本遺産認定 葛城市第2次 総合計画策定 市のできごと	デジタル防災行政 無線放送スタート 市内幼稚園、小・中学校 のエアコン設置完了 市のできごと	葛城小学校区 学童保育所新棟開所 乳幼児等の 医療費助成が 18歳以下まで拡大 葛城市制15周年 市のできごと	電子図書館スタート 相模館「けはや座」 開館30周年 「葛城修験」 日本遺産認定 市のできごと	葛城小学校附属 幼稚園建替え完了 葛城市新型コロナ ウイルスワクチン接種 スタート 小中学校でGIGA スクールスタート 耐震性の貯水槽設置 消防団屯所 5か所建替え 中央公民館・市民 体育館耐震工事を完了 市のできごと	こども議会開催 第1回けは やちゃんこ コンテスト いきいきセンター 全面改修 宮城野郷方 (第69代横綱：白鵬) が観光大使就任 市のできごと	市制20周年 記念式典 芝桜まつり2024 市のできごと	
世の中のできごと ○ソチ冬季オリンピック・ パラリンピック ○富岡製氷場が 世界遺産登録	世の中のできごと ○安全保障関連法が成立 ○選挙権年齢「18歳以上」 に引き下げ成立	世の中のできごと ○熊本地震 ○リオデジャネイロ オリンピック・ パラリンピック	世の中のできごと ○横綱：白鵬が通算最多勝 ○平成30年7月豪雨 ○平昌冬季オリンピック・ パラリンピック	世の中のできごと ○新元号「令和」に改元 ○消費税率10%スタート ○東日本で台風大雨被害 ○幼児教育・保育無償化 ○中国で「新型コロナ ウイルス」に関連した 肺炎の発生	世の中のできごと ○国内においても 新型コロナウイルス 感染症が拡大し、 緊急事態宣言発令 ○東京オリンピック・ パラリンピック延期	世の中のできごと ○東京オリンピック 聖火リレー開催 ○新型コロナウイルス ワクチン接種が スタート ○東京オリンピック・ パラリンピック開催	世の中のできごと ○ロシア軍ウクライナ 侵攻 ○円安で1ドル150円 突破 ○北京冬季オリンピック・ パラリンピック	世の中のできごと ○WBC日本代表 14年ぶり優勝 ○新型コロナウイルス 「5型」に移行 ○こども家庭庁発足	世の中のできごと ○能登半島地震 ○パリオリンピック・ パラリンピック	
2004新庄庁舎落成式	2005葛城市誕生記念式	2006市民憲章・市の木・花・鳥制定	2009葛城市マスコットキャラクター「蓮花ちゃん」	2011キャンドルナイト	2014新庄幼稚園改築	2017新クリーンセンター稼働	2020相模館「けはや座」開館30周年	2021葛城幼稚園改築	2023こども議会	2024芝桜まつり

葛城市で
活躍される方

座談会

「葛城市の未来を語る会」

葛城市市制施行 20 周年記念事業
座談会 2024 年 9 月 3 日開催

葛城市市制施行20周年を迎えるにあたり、中学生の学びの場として、阿古和彦市長とともに葛城市誕生時から今日に至るまでの歩みを振り返りながら、葛城市の未来について語り合う座談会を開催しました。

参加したのは、葛城市誕生時の元生徒会役員4人（1人はオンライン、1人はメッセージ）、葛城市とともに二十歳を迎える元生徒会役員4人（1人はメッセージ）、現在の葛城市立中学校生徒会役員4人です。昨年度開催の「葛城市こども議会」から続く主権者教育の取組みでもあり、葛城市のこれからを自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していくきっかけとなる有意義な会話の場となりました。



阿古和彦市長(中央)、[前列左から]現役中学生の流藤慎樹さん(白)、豊原晴陽さん(白)、本田夢さん(新)、中山直樹さん(新)、[後列左から]今年二十歳を迎える沖田康さん(白)、宮本朋佳さん(新)、藤井美咲さん(新)、葛城市誕生時に生徒会役員だった黒川浩輔さん(新)、織津拓人さん(白)、モニター：神川(権蔵)尚世さん(白)
※(新)→新庄中学校、(白)→白鳳中学校



葛城市誕生時の思い出

市長 2016年から葛城市の市長をしています阿古和彦と申します。今日はみなさんのお話が聞けるのを楽しみにしています。まずは20年前に中学校生徒会役員だった方々に、葛城市誕生当時の思い出を語っていただけますか？

新川 中学1年生の時に町が合併したのですが、それまでの住所が、奈良県北葛城郡新庄町と、とても長かったんです。奈良県葛城市と短くなったので、書くのが楽になり、嬉しかったですね。

神川 私は、葛城市の葛の中が「人」だったのが「ヒ」に変わったことで、素朴かくて書きやすくなったと感じ、愛着が増したのを感じています。

新川 僕は新庄中学校ソフトテニス部だったのですが、全国中学校体育大会への出場予選が、郡から市になったため、戦う相手が白鳳中学校だけになりました。ところが白鳳に男子のソフトテニス部がなかったため、結局、校内戦になったんです。いつものゲームの延長線上で勝敗を決めて葛城市1位になり、嬉しいような少し複雑な気持ちでした。

神川 私は、白鳳中学校の水泳部に所属していました。当時、新庄中学校水泳部の女子の方が早かったです。それがすごく悔しくて練習に励んで、自分のタイムを引き上げてもらえたという思い出があります。阿古市長は、20年前、何をされていたのでしょうか？

市長 新庄町と葛麻町の合併は、当時中学生だったみなさんも戸惑われたかと思いますが、実は、大人たちもそうでした。町役場の職員、議員、行政区に関わる全ての人たちによって、賛否両論いろいろな議論が交わされました。二つの町の境界線を乗り越えるためには、いわゆる座みの苦しみというのがあると思うんです。でも、ですから、当時の方々の苦悩に報いるためにも、もっともっと葛城市を良くしたいという思いが常にあります。みなさんにはこれからの葛城市を作っていくための夢をたくさん抱いて欲しいと思います。みなさんが思う、葛城市の魅力とは何でしょうか？

故郷を離れて思う葛城市の魅力

神川 私は夏休みや年末年始に、子どもを連れて東京から実家に帰省

葛城市誕生時の元新庄中学校生徒会役員
新藤芽生さんからのメッセージ(県外在住)

私にとって二上山に沈む夕日や富原寺の塔が見える風景が、どこよりも綺麗な風景です。都会のビルや人混みに圧倒された時には、葛城市にたくさんある歴史や文化を思い出そうにしています。私の好きな葛城市の風景や時間が変わらずにそこにあることが、私の宝物だと感じています。

するのですが、「二上山ふるさと公園」や「屋敷山公園」で遊んだり、「福祉総合(ゆあい)ステーション」の共同浴場やプールを利用したり、「ラッパたかまつ」で読書体験するなど、子連れで遊べる施設がたくさんあるのがいいと感じています。実家が米作りをしているので、子どもには、田んぼの手伝いもさせています。都会ではできない体験をさせてあげられるので、故郷はすごく貴重だと感じています。

神川 私は今、東大阪市に住んでいるのですが、帰ってくる度に思うのは、緑が多くて、空気が綺麗なということです。景観が昔と変わらないのがいいですね。尺土から阿倍野まで約35分で行けるという交通の利便性と、美しい自然が両立していて、すごく良い場所だなと改めて感じています。

神川 葛城市には、まだまだメダカや蜆の生息地が残っています。観光資源にもなりますし、この豊かな自然を守っていかたいと思います。

葛城市の未来を考える

神川 葛城市は台風や地震などの災害が少なく、学童保育の利用料が安く、治安も良いことから、子育て世帯が安心して暮らせる街だということをもっと発信するいいのではないのでしょうか？

神川 ここ最近の異常なほどの暑い夏でも、子どもを安心して遊ばせられる屋内施設があれば、子育てしやすい街をもっとアピールできるかもしれません。

神田 そういえば、中学校の黒板が電子化されたのと同じように、僕も同じです。

神田 それを聞いて、昨年度に開かれた「葛城市こども議会」で、「タブレット端末を使うと机が狭くなる」との意見が出たことを思い出しました。葛城市がすぐに動いてくれて、机に取り付けられるタブレット端末を全中学校に設置してくれたので、机が広くなり勉強しやすくなりました。あとは、トランスジェンダー対応の、誰でも入れるトイレもできましたよ。

神田 髪の色や靴下など学校の校則も、私たちの時代から変わってきていますよね。女子、男子関係なく制服が選べるなど、時代に合わせた対応されているのが、葛城市は進んでいるなと思います。

本田 僕たちは思っているんですね。

神田 先輩方のお話から、葛城市の魅力が再発見できて、改めて葛城市に生まれてきてよかったなと思いました。

二十歳を迎える元新庄中学校生徒会役員
根本花さんからのメッセージ(葛城市在住)

私は葛城市で生まれ育ちました。小学校や中学校の児童数、生徒数が増えたということを知って、とても嬉しく感じています。でもその反面、新しく家が建ったりして、田んぼなどの風景が無くなったのが少し残念という思いもあります。

葛城市のアピールのアイデア

神田 僕は相模の発祥地ということをもっとアピールしてもいいのかなと思います。わんぱく相撲大会やちゃんこ鍋など！

神田 私は子どもの頃から葛城市の公式マスコットキャラクターである蓮花ちゃんが大好きです。

神田 中得姫をモチーフにしたキャラクターで、せんとくんの彼女候補なんですね。

インタビュー

合併によって整備され
発展した葛城市

葛城市商工会
会長 駒井和雄さん



20年前、新庄町と葛麻町の合併話が浮上したとき、合併協議会にて賛否両論さまざまな意見が交わされました。合併が決まったと聞いたときは、国の支援も受けられるため、うれしかったです。一番良かったと思うことは、合併特例債を活用して、合併後に必要となる公共施設の整備事業をスムーズに実施することができたことです。たとえば、「学校給食センター」や「クリーンセンター」などを1カ所にまとめることで、維持費削減を実現することができました。とくに、旧新庄町と旧葛麻町の境付近である、南阪奈道路葛城インター近くでできた「道の駅かつらぎ」は、合併の象徴といえるでしょう。市民の雇用、地元の特産品、加工品、特産物の販売などを通じて、葛城市の発展に大きく寄与していると思います。

これからの葛城市に期待することは、企業誘致です。昔から教育に熱心だった葛城市は、いち早く小・中学生の子どもたちに、ひとり一台のタブレットやパソコンを導入するなど施策を実施しております。地元で育った優秀な人材が、そのままで地元で働いてもらえるような企業を誘致していただきたい。奈良県で一番安い水道料金を誇る葛城市は、企業にとっても魅力のある場所だと思います。

高齢者が安心して住める
福祉が充実した街

葛城市観光ボランティアガイドの会
会長 松下和美さん



旧新庄町と旧葛麻町の合併以降、住宅地の開発とともに新しい住民の方が増え、うまく葛城市に馴染んでおられるのではと感じています。都会化され過ぎず、歴史と自然豊かな田舎の雰囲気も残したままで、葛城市は、良い意味で昔と変わらず、住みやすいと感じています。

葛城市は福祉が充実しており、たとえば、他市にはあまりないような市独自の福祉サービスとして、長期間の療養、治療を必要とする特定疾患等の方には給付金が出たり、また、85歳以上の高齢者の方には敬老年金が贈られたりします。これは、旧両町の時からあった福祉サービスが廃止されることなく、充実しているサービスは、合併後も継続できるようにしたためだと聞きました。私のようなシニア世代にとっては、とても安心して暮らせる街だと感じています。

旧新庄町と旧葛麻町という小さな枠組みを外して、葛城市という大きな視点をもって市で発展したように、今後、観光業においても、もっと発展させていくためには、葛城市だけで考えるのではなく、葛城市周辺の地域との広域連携を進めて、観光地を盛り上げていただけることを期待しています。